

2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社光通信 上場取引所 東
 コード番号 9435 URL http://www.hikari.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 和田 英明
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役 管理本部長（氏名） 儀同 康 (TEL) 03-5951-3718
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 2021年3月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	405,045	4.1	65,945	5.6	73,122	9.4	46,828	1.0	43,599	△1.5	88,954	4.3
2020年3月期第3四半期	388,951	12.3	62,443	26.7	66,811	23.1	46,357	26.6	44,246	29.6	85,263	206.2
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2021年3月期第3四半期	950.21				946.61							
2020年3月期第3四半期	964.31				961.15							

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,109,544	388,693	353,995	31.9
2020年3月期	972,075	318,583	285,746	29.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	96.00	99.00	102.00	105.00	402.00
2021年3月期	105.00	117.00	117.00		
2021年3月期(予想)				117.00	456.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	525,000	0.1	75,000	2.7	53,000	2.6	1,155.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	46,549,642株	2020年3月期	46,549,642株
2021年3月期3Q	666,359株	2020年3月期	665,633株
2021年3月期3Q	45,883,606株	2020年3月期3Q	45,884,698株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<業績の概況>

第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループでは、強みである販売力を活かし、回線、電力、宅配水、保険といった長期的に安定した収益が期待できる事業に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、顧客契約数の増加に伴い将来の安定した収益源となるストック利益(※)の増加等により、売上収益は405,045百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は65,945百万円(前年同期比5.6%増)、税引前四半期利益は73,122百万円(前年同期比9.4%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は43,599百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

※当社グループが獲得したユーザーによって契約後に毎月支払われる基本契約料金・使用料金・保険料金等から得られる収入から、顧客維持コスト、提供サービスの原価等を除いた利益分のことであります。収入については、通信キャリア、保険会社などから受け取る場合と、ユーザーから直接受け取る場合とがあります。

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期連結累計期間 (2019.4.1～2019.12.31)	2021年3月期 第3四半期連結累計期間 (2020.4.1～2020.12.31)	増減	増減率(%)
売上収益	388,951	405,045	16,094	4.1
営業利益	62,443	65,945	3,502	5.6
税引前四半期利益	66,811	73,122	6,311	9.4
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	44,246	43,599	△647	△1.5

<当期のセグメント別の状況>

【法人サービス事業】

主に中小企業に対して、通信回線サービス、電力、各種システムなどの自社で企画・開発した商材の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、顧客契約数が伸びたことにより、将来の安定した収益源となるストック利益が増加し、売上収益は198,434百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益は30,578百万円(前年同期比22.9%増)となりました。

【個人サービス事業】

主に個人に対して、通信回線サービス、宅配水などの自社で企画・開発した商材の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、顧客契約数が伸びたことにより、将来の安定した収益源となるストック利益が増加し、売上収益は88,007百万円(前年同期比12.1%増)、営業利益は18,912百万円(前年同期比31.7%増)となりました。

【取次販売事業】

主に中小企業や個人に対して、通信キャリア、保険会社、メーカーなどの各種商品の取次販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業自粛等の影響からは回復基調にあるものの、売上収益は119,642百万円(前年同期比15.1%減)、営業利益は18,115百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
	百万円	百万円	百万円
資産	972,075	1,109,544	137,468
負債	653,491	720,850	67,358
資本	318,583	388,693	70,109

資産は、投資有価証券を取得したこと等により、前連結会計年度末に比べて137,468百万円増加の1,109,544百万円となりました。

負債は、社債を発行したこと等により、前連結会計年度末に比べて67,358百万円増加の720,850百万円となりました。

資本は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて70,109百万円増加の388,693百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,528	56,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,210	△78,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,498	30,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	261,115	277,046

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期連結累計期間の業績が順調に推移したこと等により、56,400百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得等により、78,418百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行等により、30,462百万円のプラスとなりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、277,046百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年5月20日付「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております、従いまして、これらの業績見通し等に全面的に依拠することはお控えくださるようお願い致します。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		272,187	277,046
営業債権及びその他の債権		188,475	197,119
棚卸資産		2,168	1,821
その他の金融資産		13,500	4,605
その他の流動資産		17,008	12,974
(小計)		493,340	493,567
売却目的で保有する資産		1,108	—
流動資産合計		494,449	493,567
非流動資産			
有形固定資産		20,281	20,307
使用権資産		12,871	12,902
のれん		29,345	30,927
無形資産		13,938	12,126
持分法で会計処理されている投資		74,728	78,448
その他の金融資産		279,720	415,090
繰延税金資産		8,129	6,689
契約コスト		38,425	39,334
その他の非流動資産		182	151
非流動資産合計		477,625	615,976
資産合計		972,075	1,109,544

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		174,140	180,521
有利子負債		57,715	108,490
未払法人所得税		10,700	16,880
引当金	5	—	2,269
その他の金融負債		6,599	454
その他の流動負債		22,028	10,721
流動負債合計		271,184	319,337
非流動負債			
有利子負債		341,943	341,274
確定給付負債		847	783
引当金		476	730
その他の非流動負債		14,428	16,524
繰延税金負債		24,610	42,200
非流動負債合計		382,306	401,512
負債合計		653,491	720,850
資本			
資本金		54,259	54,259
資本剰余金		7,199	4,949
利益剰余金		232,559	303,370
自己株式		△7,852	△7,869
その他の包括利益累計額		△419	△714
親会社の所有者に帰属する持分合計		285,746	353,995
非支配持分		32,837	34,698
資本合計		318,583	388,693
負債及び資本合計		972,075	1,109,544

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益		388,951	405,045
売上原価		155,422	172,020
売上総利益		233,529	233,025
その他の収益		7,427	3,235
販売費及び一般管理費		177,325	168,760
その他の費用		1,189	1,556
営業利益		62,443	65,945
金融収益		6,753	7,336
金融費用		5,230	10,163
持分法による投資損益		2,006	3,503
その他の営業外損益		838	6,501
税引前四半期利益		66,811	73,122
法人所得税費用		20,453	26,293
四半期利益		46,357	46,828
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		44,246	43,599
非支配持分		2,110	3,229
四半期利益		46,357	46,828
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	7	964.31	950.21
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	7	961.15	946.61

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上収益		129,182	139,110
売上原価		51,937	65,685
売上総利益		77,244	73,425
その他の収益		320	413
販売費及び一般管理費		59,775	54,583
その他の費用		222	898
営業利益		17,568	18,356
金融収益		2,204	2,608
金融費用		319	3,693
持分法による投資損益		447	1,362
その他の営業外損益		31	4,386
税引前四半期利益		19,932	23,020
法人所得税費用		6,350	8,615
四半期利益		13,582	14,404
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		13,209	13,670
非支配持分		372	733
四半期利益		13,582	14,404
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	7	287.90	297.95
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	7	287.00	297.18

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	46,357	46,828
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	38,781	42,212
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分相当額	135	208
合計	38,917	42,420
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	14	△282
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分相当額	△26	△12
合計	△11	△295
税引後その他の包括利益	38,905	42,125
四半期包括利益合計	85,263	88,954
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	83,292	85,658
非支配持分	1,970	3,295
四半期包括利益合計	85,263	88,954

第3四半期連結会計期間

(単位:百万円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	13,582	14,404
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	29,632	13,096
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分相当額	22	45
合計	29,654	13,141
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	101	△20
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分相当額	15	41
合計	116	20
税引後その他の包括利益	29,771	13,162
四半期包括利益合計	43,353	27,566
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	43,097	26,834
非支配持分	256	731
四半期包括利益合計	43,353	27,566

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額			
2019年4月1日	54,259	4,873	206,181	△7,828	△194	257,291	16,218	273,510
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	44,246	—	—	44,246	2,110	46,357
その他の包括利益	—	—	—	—	39,045	39,045	△140	38,905
四半期包括利益合計	—	—	44,246	—	39,045	83,292	1,970	85,263
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△13,214	—	—	△13,214	△1,225	△14,439
連結範囲の変動	—	—	△94	—	—	△94	△105	△200
支配継続子会社に対する持分変動	—	2,506	—	—	—	2,506	16,015	18,522
自己株式の取得及び処分	—	—	—	△17	—	△17	—	△17
株式報酬取引	—	3	—	—	—	3	69	72
利益剰余金への振替	—	—	39,044	—	△39,044	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	2,509	25,735	△17	△39,044	△10,816	14,754	3,937
2019年12月31日	54,259	7,383	276,163	△7,845	△193	329,767	32,943	362,710

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額			
2020年4月1日	54,259	7,199	232,559	△7,852	△419	285,746	32,837	318,583
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	43,599	—	—	43,599	3,229	46,828
その他の包括利益	—	—	—	—	42,059	42,059	65	42,125
四半期包括利益合計	—	—	43,599	—	42,059	85,658	3,295	88,954
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△15,003	—	—	△15,003	△1,523	△16,527
連結範囲の変動	—	—	△138	—	—	△138	△88	△226
支配継続子会社に対する持分変動	—	△2,350	—	—	—	△2,350	229	△2,121
自己株式の取得及び処分	—	—	—	△16	—	△16	—	△16
株式報酬取引	—	100	—	—	—	100	△51	48
利益剰余金への振替	—	—	42,354	—	△42,354	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△2,250	27,212	△16	△42,354	△17,409	△1,434	△18,844
2020年12月31日	54,259	4,949	303,370	△7,869	△714	353,995	34,698	388,693

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	66,811	73,122
減価償却費及び償却費	12,030	12,294
金融収益	△6,753	△7,336
金融費用	5,230	10,163
持分法による投資損益(△は益)	△2,006	△3,503
契約コストの増減(△は増加)	△6,880	△1,514
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	2,076	△8,985
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	4,936	7,946
棚卸資産の増減(△は増加)	345	△140
その他	△1,963	△3,876
小計	73,825	78,169
利息の受取額	1,269	562
配当金の受取額	6,216	8,478
利息の支払額	△2,391	△3,059
法人所得税の支払額又は還付額	△11,391	△27,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,528	56,400
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△14,590	△10,870
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	5,646	1,888
投資有価証券の取得による支出	△80,888	△87,807
投資有価証券の売却による収入	35,397	18,659
子会社の支配獲得による収支(△は支出)	△3,724	△491
子会社の支配喪失による収支(△は支出)	2,403	1,043
貸付けによる支出	△1,872	△6,903
貸付金の回収による収入	2,676	4,402
その他	2,739	1,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,210	△78,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の収支(△は支出)	△2,824	16,627
長期有利子負債の収入	87,530	52,369
長期有利子負債の支出	△31,635	△21,407
非支配持分からの払込みによる収入	20,343	360
自己株式の取得による支出	△17	△16
配当金の支払額	△13,183	△14,939
非支配持分への配当金の支払額	△1,006	△1,510
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△1,773	△2,595
その他	2,065	1,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,498	30,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△445	△3,584
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,370	4,859
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	419	-
現金及び現金同等物の期首残高	186,325	272,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	261,115	277,046

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結財務諸表注記)

1. 報告企業

株式会社光通信（当社）は日本に所在する株式会社であり、東京証券取引所に株式を上場しております。登記上の本社の住所は東京都豊島区西池袋一丁目4番10号であります。当第3四半期連結会計期間（2020年10月1日から2020年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社（以下「当社グループ」という。）ならびに関連会社に対する当社グループの持分から構成されております。当社グループの最上位の親会社は株式会社光通信であります。当社グループは、主に情報通信分野において様々な事業に取り組んでおります。

詳細は、「注記6. 事業セグメント」に記載しております。

2. 要約四半期連結財務諸表作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社の要約四半期連結財務諸表は、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、IAS第34号に準拠して作成されております。

(2) 測定の基礎

本要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定している金融商品などを除き、取得原価を基礎として計上しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

本要約四半期連結財務諸表は当社の機能通貨である円（百万円単位、単位未満切捨て）で表示しております。

(4) 未適用の公表済み基準書

本要約四半期連結財務諸表の承認日までに主に以下の基準書の 신설または改訂が公表されておりますが、2020年12月31日現在において強制適用されるものではなく、当社グループでは早期適用しておりません。

適用による当社グループへの影響は検討中であり、見積もることはできません。

基準書	基準名	強制適用時期 (以後開始年度)	当社グループ 適用時期	新設・改訂の概要
IFRS第17号	保険契約	2023年1月1日	未定	保険契約の会計処理及び開示を改訂

3. 重要な会計方針

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より以下の基準を早期適用しております。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	COVID-19に関連した賃料減免に関する会計処理を改訂

本改訂は、新型コロナウイルス感染症(以下、「COVID-19」という。)の感染拡大の直接的な結果として賃料減免を受けたリースの借手に対して、簡便的な会計処理を選択することを認めるものであります。

本改訂によれば、COVID-19に関する賃料減免のうち所定の要件を満たすものについて、これがIFRS第16号において規定される「リースの条件変更」に該当するか否かに係る評価を行わなくてもよいとする実務上の便法を借手が選択することができるかとされております。

当社グループは、上記の要件を満たす賃料減免について本便法を適用しております。

なお、本便法の適用による影響は軽微であります。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

IFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用ならびに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を行うことが要求されております。実際の業績は、その性質上これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されます。会計上の見積りの見直しによる影響は、見積りを見直した会計期間及びそれ以降の将来の会計期間において認識されます。

要約四半期連結財務諸表における重要な会計上の見積り及び仮定は、以下を除き前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

- ・ 不当な契約に係る引当金(注記5. 引当金)

5. 引当金

不利な契約

連結会社が不利な契約に関連して計上している引当金は、主に電力小売りサービス等における顧客との契約において、契約を履行するために不可避的なコストが、当該契約により受け取ると見込まれる経済的便益を上回る場合に、認識している債務であります。

当第3四半期連結累計期間において、不利な契約に関して、2,269百万円の引当金を認識いたしました。当該引当金の繰入額は、要約四半期連結損益計算書上、「売上原価」に含まれております。これは、当社グループの電力小売りサービスでは、顧客へ販売する電力を主に市場から調達しておりますが、2020年12月下旬から2021年1月下旬にかけて、市場価格が急騰したことによるものであります。

市場価格については、2021年1月下旬以降、再び安定を取り戻しており、今後も引き続き安定的な価格で推移していくものと仮定しておりますが、今後の市場価格の動向等によっては、当初の見積りとの乖離が生じ、その結果、不利な契約に係る引当金が過大もしくは過小となる可能性があります。

6. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社としての当社の下、各事業会社が、取り扱う製品・サービスの事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業会社を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「法人サービス」、「個人サービス」及び「取次販売」の3つを報告セグメントとしております。

「法人サービス」は、主に中小企業に対して、通信回線サービス、電力、各種システムなどの自社で企画・開発した商材の販売を行っております。

「個人サービス」は、主に個人に対して、通信回線サービス、宅配水などの自社で企画・開発した商材の販売を行っております。

「取次販売」は、主に中小企業や個人に対して、通信キャリア、保険会社、メーカーなどの各種商品の取次販売を行っております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「注記3. 重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)	要約四半 期連結財 務諸表 計上額
	法人 サービス	個人 サービス	取次 販売	計				
売上収益								
外部顧客への売上収益	170,170	78,205	140,575	388,951	—	388,951	—	388,951
セグメント間の内部売上収益及び振替高	1,077	290	272	1,640	—	1,640	△1,640	—
計	171,247	78,496	140,847	390,592	—	390,592	△1,640	388,951
セグメント利益	24,885	14,359	23,238	62,484	1	62,486	△43	62,443
金融収益								6,753
金融費用								5,230
持分法による投資損益								2,006
その他の営業外損益								838
税引前四半期利益								66,811

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社損益が含まれております。なお、当該金額には、固定資産売却益が1,987百万円含まれており、これは主として土地建物の売却によるものであります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)	要約四半 期連結財 務諸表 計上額
	法人 サービス	個人 サービス	取次 販売	計				
売上収益								
外部顧客への売上収益	197,937	87,785	119,322	405,045	—	405,045	—	405,045
セグメント間の内部売上収益及び振替高	497	221	319	1,038	—	1,038	△1,038	—
計	198,434	88,007	119,642	406,084	—	406,084	△1,038	405,045
セグメント利益	30,578	18,912	18,115	67,606	—	67,606	△1,661	65,945
金融収益								7,336
金融費用								10,163
持分法による投資損益								3,503
その他の営業外損益								6,501
税引前四半期利益								73,122

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

前第3四半期連結会計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)	要約四半 期連結財 務諸表 計上額
	法人 サービス	個人 サービス	取次 販売	計				
売上収益								
外部顧客への売上収益	56,607	26,954	45,621	129,182	0	129,182	—	129,182
セグメント間の内部売上収益及び振替高	458	186	59	704	—	704	△704	—
計	57,066	27,141	45,680	129,887	0	129,887	△704	129,182
セグメント利益	7,333	3,945	7,065	18,344	1	18,346	△777	17,568
金融収益								2,204
金融費用								319
持分法による投資損益								447
その他の営業外損益								31
税引前四半期利益								19,932

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第3四半期連結会計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)	要約四半 期連結財 務諸表 計上額
	法人 サービス	個人 サービス	取次 販売	計				
売上収益								
外部顧客への売上収益	67,896	31,328	39,885	139,110	—	139,110	—	139,110
セグメント間の内部売上 収益及び振替高	107	17	128	254	—	254	△254	—
計	68,003	31,346	40,014	139,364	—	139,364	△254	139,110
セグメント利益	7,297	6,815	4,963	19,077	—	19,077	△720	18,356
金融収益								2,608
金融費用								3,693
持分法による投資損益								1,362
その他の営業外損益								4,386
税引前四半期利益								23,020

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

7. 1株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益及び算定上の基礎、希薄化後1株当たり四半期利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
(1) 基本的1株当たり四半期利益	964円31銭	950円21銭
(算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	44,246	43,599
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	44,246	43,599
普通株式の加重平均株式数(千株)	45,884	45,883
(2) 希薄化後1株当たり四半期利益	961円15銭	946円61銭
(算定上の基礎)		
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	44,246	43,599
子会社及び関連会社の潜在株式に係る利益調整額(百万円)	△81	△100
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	44,164	43,498
普通株式の加重平均株式数(千株)	45,884	45,883
新株予約権による普通株式増加数(千株)	65	67
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる普通株式の加重平均株式数(千株)	45,949	45,951

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
(1) 基本的1株当たり四半期利益	287円90銭	297円95銭
(算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	13,209	13,670
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	13,209	13,670
普通株式の加重平均株式数(千株)	45,884	45,883
(2) 希薄化後1株当たり四半期利益	287円00銭	297円18銭
(算定上の基礎)		
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	13,209	13,670
子会社及び関連会社の潜在株式に係る利益調整額(百万円)	△15	△10
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	13,194	13,659
普通株式の加重平均株式数(千株)	45,884	45,883
新株予約権による普通株式増加数(千株)	90	81
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる普通株式の加重平均株式数(千株)	45,975	45,965

8. 後発事象

当社は、2021年1月12日開催の当社取締役会の決議に基づき、2021年2月2日に、以下のとおり社債を発行いたしました。

第29回無担保社債

(1) 社債の銘柄	株式会社光通信第29回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
(2) 発行総額	金100億円
(3) 各社債の金額	金1億円
(4) 利率	年0.38%
(5) 発行価格	額面100円につき金100円
(6) 償還金額	額面100円につき金100円
(7) 払込期日	2021年2月2日
(8) 償還期限	2026年2月2日（5年債）
(9) 利払日	毎年2月2日及び8月2日の2回
(10) 資金使途	借入金返済資金、社債償還資金
(11) 主幹事証券会社	野村証券株式会社 大和証券株式会社 東海東京証券株式会社 SMBC日興証券株式会社 みずほ証券株式会社
(12) 財務代理人	株式会社みずほ銀行
(13) 振替機関	株式会社証券保管振替機構
(14) 取得格付	A（株式会社日本格付研究所） A-（株式会社格付投資情報センター）

第30回無担保社債

(1) 社債の銘柄	株式会社光通信第30回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
(2) 発行総額	金150億円
(3) 各社債の金額	金1億円
(4) 利率	年0.98%
(5) 発行価格	額面100円につき金100円
(6) 償還金額	額面100円につき金100円
(7) 払込期日	2021年2月2日
(8) 償還期限	2031年1月31日（10年債）
(9) 利払日	毎年2月2日及び8月2日の2回
(10) 資金使途	借入金返済資金、社債償還資金
(11) 主幹事証券会社	野村証券株式会社 大和証券株式会社 東海東京証券株式会社 SMBC日興証券株式会社 みずほ証券株式会社
(12) 財務代理人	株式会社みずほ銀行
(13) 振替機関	株式会社証券保管振替機構
(14) 取得格付	A（株式会社日本格付研究所） A-（株式会社格付投資情報センター）

第31回無担保社債

(1) 社債の銘柄	株式会社光通信第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
(2) 発行総額	金250億円
(3) 各社債の金額	金1億円
(4) 利率	年1.38%
(5) 発行価格	額面100円につき金100円
(6) 償還金額	額面100円につき金100円
(7) 払込期日	2021年2月2日
(8) 償還期限	2036年2月1日（15年債）
(9) 利払日	毎年2月2日及び8月2日の2回
(10) 資金使途	借入金返済資金、社債償還資金
(11) 主幹事証券会社	野村証券株式会社 大和証券株式会社 東海東京証券株式会社 SMBC日興証券株式会社 みずほ証券株式会社
(12) 財務代理人	株式会社みずほ銀行
(13) 振替機関	株式会社証券保管振替機構
(14) 取得格付	A（株式会社日本格付研究所） A-（株式会社格付投資情報センター）

9. 承認日

2021年2月12日に当要約四半期連結財務諸表は、取締役会によって承認されております。